

絵画の部(小学校)



☆最優秀賞☆

出雲市立遙堪小学校 6年 足立 陽香(あだち はるか)さん

【講評】

山が擬人化されており、恐ろしいだけの存在ではなく、危険を知らせてくれる存在として表現されている。がけ崩れの起こり初めの様子や地響きの音が描かれ、注意しなければならない山の様子を分かりやすく伝えている。

大切なのは、山が教えてくれる「注意報」を感じとることや、それを速やかな避難につなげることであるというメッセージが伝わってくる作品である。

絵画の部(中学校)



★最優秀賞★

出雲市立河南中学校 1年 松村 庄太郎(まつむら しょうたろう)さん

【講評】

土砂災害で押し寄せる土砂を「怪物」として表現し、それが家や道路を飲み込んでいく様を描いている。まさに飲み込まれていく家、ガードレール、自転車、草木が茂る緑の山の斜面を丁寧に描いたうえで、色を何層にも重ねて「怪物」を表現している。その土砂の勢いには臨場感があり、見た人の心に土砂災害の恐ろしさを強く訴える作品である。